

大声で騒ぎ、近所に迷惑をかける…

⇒想像し、理解することが症状緩和の第一歩です

とよさと病院 認知症疾患医療センター

【 認知症の人の状態 】

認知症の診断基準の中に、情緒が変わりやすい（**情緒易変性**）、刺激を受けやすい（**易刺激性**）という項目があります。これは認知症の典型的な症状です。

脳梗塞や脳出血などによる血管性認知症では、**感情失禁**（または情動失禁）という症状がみられます。感情失禁を起こすと、感情のコントロールが難しくなり、些細なことをきっかけにして、激しく怒り出したり、大声で笑い続けたり泣き叫んだりします。

また、誰もいないのに、「誰かが襲ってくる！助けて！」などと、**被害妄想**にとらわれて大騒ぎする“せん妄”で興奮して大声を出す人もいます。あるいは、単に感情だけの問題ではなく、頭痛、腹痛、歯痛など、**体調不良が原因**ということも考えられます。

言葉でうまく自分の気持ちを伝えることが難しい認知症の人は、大声や怒りなどで気持ちを表すことがあります。このようなときは、どうして欲しいのか想像し、理解することが症状緩和の第一歩です。

【 対応方法 】

①周囲の人には、突然意味もなく騒ぎ出すように感じられますが、本人にとっては、**目的や思い**があります。無理に止めようとせず、**何が原因か、何をして欲しいのか、訴えたかったのか**考えてみましょう。

例えば一人でいると不安や恐怖を感じて、助けを求めているのかもしれませんが、そういうときは「いつもそばにいるからね」と伝えましょう。さらに、「部屋を明るくする」「テレビをつける（消す）」「空調を調節する」など、**本人が安心できる、刺激の少ない環境を整え**ましょう。

また、「数日前に模様替えをして環境が変わったから」「慣れないショートステイから帰ってきた後だから」など、**原因はその日に起こったことではない**場合もあります。

不安、恐怖などを感じている様子の場合、家族がずっと一緒にいることを都度伝えましょう。

2022.6作成

参考文献：杉山孝博, 認知症の9大法則50症状と対応策, 法研, 2013, P116-117

認知症の人と家族の会, 認知症になった家族との暮らしかた, ナツメ社, 2018, P116-117

④発熱、頭痛、便秘、下痢など、体の調子が悪いけれどそれを言葉で伝えられずに騒いでいる場合もあります。体調に問題がないかどうか確認し、必要なら医師の診察を受けましょう。



空気の入れ替え、ほどよい明るさの照明、エアコンの快適な温度設定など、環境を整えましょう。



もう大丈夫ですよ。

やさしく声をかけ、背中をさすったり手をにぎったりしてあげると、気持ちが落ち着きます。

最近何かあったかしら？

何に対して怒っているのかわからないときは、今日のことだけでなく、数日前まで遡って理由を思いめぐらせてみま

参考文献：杉山孝博, 認知症の9大法則50症状と対応策, 法研, 2013, P116-117

認知症の人と家族の会, 認知症になった家族との暮らしかた, ナツメ社, 2018, P116-117

2022.6作成

ケアのコツ…本人に影響を与える要因～心理的要因～

- ・不安
- ・心配
- ・苛立ち
- ・嬉しさ
- ・怒り
- ・寂しさ
- ・悲しみ
- ・思いやり
- ・心細さ
- ・困惑
- ・後悔
- ・感謝
- ・焦り
- ・未練
- ・孤独感
- ・喜び
- ・絶望感
- ・虚無感

など



参考文献：ペホス, “理由を探る” 認知症ケア, 株式会社メディカル・パブリケーションズ, 2014, P118-121